

リサイクル

未来のためにごみと向き合う



三間支所リサイクル倉庫前でのごみ分別教室の様子

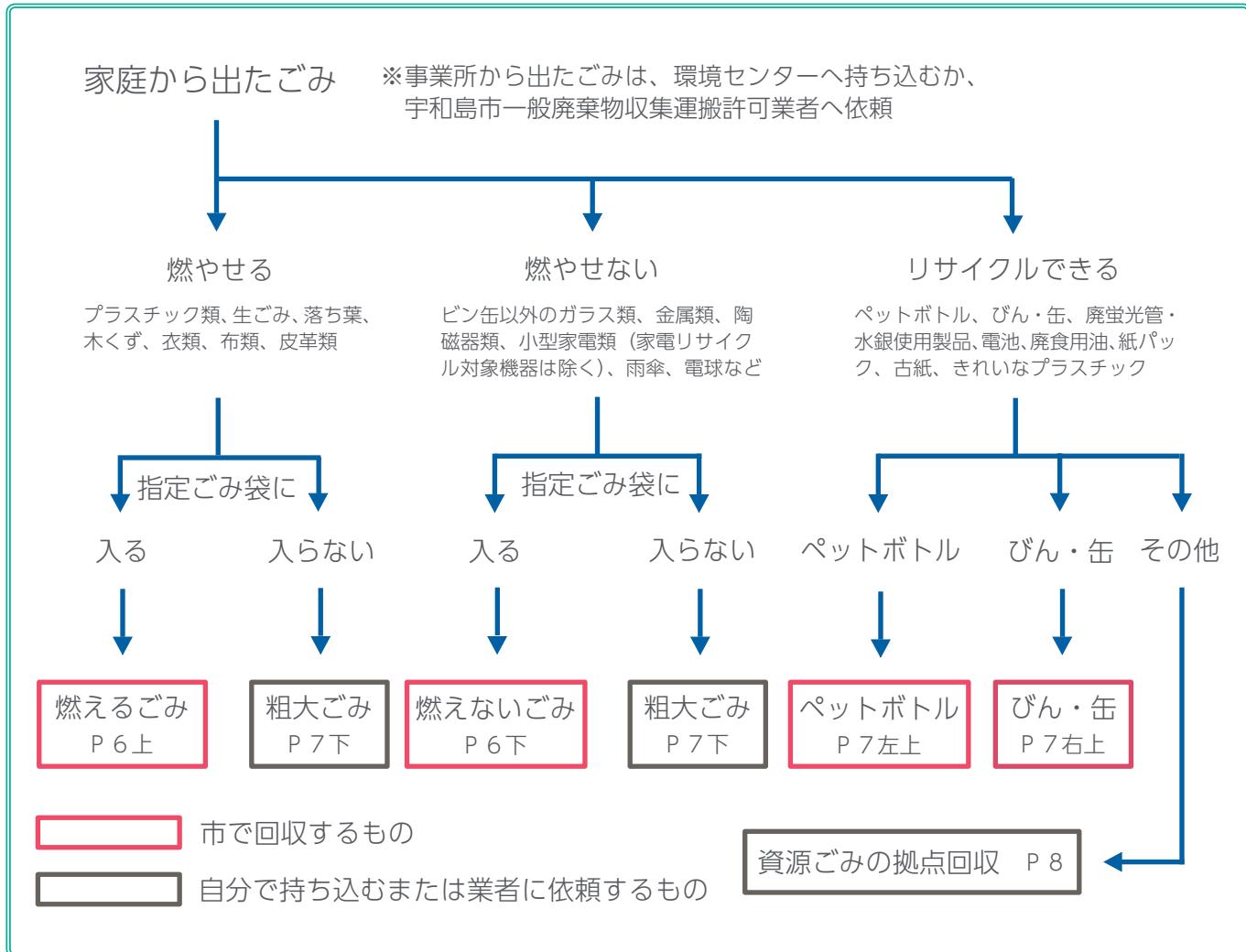
ごみとの付き合い方を考える年末に

環境省によると、令和5年の日本の1人1日あたりのごみ排出量は約851グラムで、年間では約311キログラムとされています。また、日本全体の年間総排出量は約3897万トンで、ごみ処理にかかる費用は年々増加傾向にあり、重要な課題となっています。さらに、全国のごみのリサイクル率は19.5%で、この割合は他の先進国と比べても決して高くはありません。加えて近年では、プラスチックごみによる海洋汚染の深刻化も大きな問題となっています。限りある資源はもちろん、美しい自然環境をいかに守り続けていくかが、喫緊の課題となっています。

みんなが快適に暮らせる生活環境を維持するため、ふるさとの自然を守るために、一人一人が決まりを守ることが必要です。これから年末に向か、各家庭で大掃除を行うなど、ごみの量が増える時期です。そこで今回の特集では、改めてごみの分別方法や出し方のルールについて紹介します。この機会に正しいごみとの付き合い方について考えてみませんか。

家庭ごみ分別フローチャート

分別ルールを一人一人が守り、資源ごみの拠点回収にも協力をお願いします。



ごみの捨て方とルール

- ▷ごみ出しの時間は、午前6時～8時30分
- ▷一度に出せるごみは、指定ごみ袋(大)3袋
- ▷ごみステーション(ごみを出す場所)のルールは、地元の自治会などに確認

※詳しくは、市ホームページをご覧ください



ID : 0053100

市公式LINEには、便利なごみ収集日カレンダーや、収集日のお知らせ機能があります。



悪い例



ごみステーション以外の場所に不法投棄されたごみ

良い例



きちんと分別され、ごみステーションに出されたごみ

友だち追加
はこちらから



ごみの種類ごとの一例を紹介します。

燃えるごみ

プラスチック類、生ごみ、落ち葉・木くず、衣類・布類・皮革類



剪定木 ※指定袋に入るように切る



プラスチック製の包装 ※きれいなものは資源ごみの拠点回収可



カップ麺の容器



衣服 ※金具などは外す



ブルーシート ※50cm角以下に切る



マヨネーズやケチャップの容器
※汚れているもの

燃えないごみ

びん缶以外のガラス・金属類、陶磁器類、小型家電類、雨傘、電球など



傘 ※傘のみ指定袋からはみ出しき可



鍋などの金属製の調理道具



食器 (陶器やガラス) ※割れた物は紙か布に包んで「キケン」と表示



小型家電 ※家電リサイクル対象機器は不可

電池類のごみの出し方にご注意ください



電池類は、発火の恐れがあるため、燃える・燃えないごみに混ぜないでください。家電から外して、資源ごみの拠点回収 (P 8) に出してください。

スマートフォンなどに使われているリチウムイオン電池は、特に火災のリスクが高いのでご注意ください。電池が外れない製品は無理に外さず、そのまま本体ごと専用回収ボックスに出してください。

ペットボトル

▷右の識別表示マークが付いたもの



PET

▷キャップ・ラベルを外す(キャップ・ラベルは「きれいなプラスチック」か「燃えるごみ」)

▷中身を空にし軽くすすぐ

▷汚れのひどい物は「燃えるごみ」

悪い例



良い例



びん・缶

▷キャップ・ふたを外し軽くすすぐ

▷割れたびんは紙か布に包んで「キケン」と表示する

▷スプレー缶・カセットボンベは使い切り、風通しのよいところで穴を空ける

▷ガラス食器(コップ・皿)、ガラス製品、花瓶、耐熱ガラス(哺乳びんなど)、陶器(茶わん、湯飲み)は「燃えないごみ」

悪い例



良い例



※金属製のキャップ・ふたは「燃えないごみ」、プラスチック製のものは「きれいなプラスチック」か「燃えるごみ」

粗大ごみ・多量ごみ

指定ごみ袋に入らない大きなものや指定ごみ袋(大)3袋を超える量のごみは、市で収集していません。環境センターに持ち込むか、一般廃棄物収集運搬業許可業者に依頼してください。



■宇和島地区広域事務組合環境センター

〒798-0078 祝森甲3799番地 ☎ 49-5040



■宇和島市一般廃棄物収集運搬業許可業者

※許可がない業者に依頼すると、請け負った側も、ごみを排出した側も法律により罰せられます



環境センターへの持ち込み方法



▷ごみ出しステーションへ出すごみと同じように分別する
▷荷降ろしは搬入者自身で行う
▷搬入時間は、月～土曜日(祝日を除く)の午後1時～4時30分
▷処理手数料は、家庭ごみ10kgあたり50円
▷家電リサイクル対象機器(テレビ、冷蔵・冷凍庫、洗濯機、エアコン、衣類乾燥機)などの受け入れできないものは、販売店や専門業者へ依頼する
※詳しくは、ホームページをご覧ください



資源ごみの拠点回収

市役所や各支所、公民館などで資源ごみを回収しています。
限りある資源を循環していくためにご協力をお願いします。



市役所庁舎裏のリサイクル倉庫

廃蛍光管・水銀使用製品



【対象】

家庭で使用した蛍光管(直管形・丸形・電球形)、体温計・温度計(水銀入り)

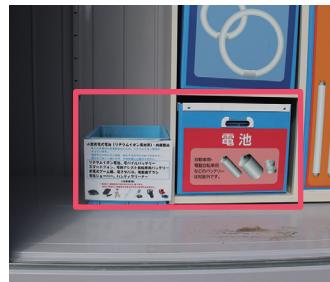
※白熱電球、グローランプ、LED電球、水銀未使用の体温計や温度計は「燃えないごみ」

※事業所のものは回収不可



ID : 0042305

電池



【対象】

マンガン電池、アルカリ電池、ボタン電池、リチウム一次電池、小型充電式電池(リチウムイオン電池とそれを内蔵する電気製品を含む)

※液漏れしているものは袋に入れる

※自動車・船舶用などのバッテリーは回収不可

※ボタン電池、リチウム一次電池、小型充電式電池はテープで絶縁する

※事業所のものは回収不可



ID : 0053496

飲料用紙パック



【対象】

牛乳パックなどの飲料用紙パック

※飲料用紙パックを水洗いして開き、乾かしてから回収ボックスに入れる

※パックの中がアルミ箔のものは、回収不可



ID : 0042306

きれいなプラスチック(令和8年度から本格運用)



【対象】

容器包装プラスチック(食品トレー、シャンプー・洗剤のボトル、ペットボトルのキャップとラベルなど)、プラスチック製品

※洗って汚れを落とし、乾かしてから回収ボックスに入れる

※金属部品や木材、ゴムなどが含まれているものは

回収不可

※一边の長さが50cm以上のものや事業所のものは
回収不可



ID : 0098722

古紙(市役所は毎月4のつく日)



【対象】

新聞(折込広告を含む)、ダンボール、雑誌・雑紙(厚表紙・カバーは取り除く)、紙パック

※品目ごとにひもで十字にしばる(ガムテープなどでは留めない)

※ホッチキス、金具、ビニールなどは取り除く



ID : 0067610

廃食用油



【対象】

家庭から出る植物性の食用油

※ペットボトルなどに入れ、中身がもれないようにキャップでふたをする(紙パック不可)

※ラードなどの動物性脂や機械油、事業所から排出される油は回収不可)



ID : 0042308

RUC POINT対象

家庭でごみの削減やリサイクルに取り組む市民に話を聞きました。またごみの収集運搬やまちの美化推進に携わる職員に話を聞きました。

市民の声

家庭でできることから取り組みたい

昨年、娘の夏休みの自由研究の題材にするため、市主催のダンボールコンボス教室に親子で参加しました。ダンボールを組み立て、土壤改良材と生ごみを入れることで微生物が堆肥を作る仕組みを楽しく学びました。教室後、娘は作ったコンポストで、祖母の畑で使う堆肥作りに熱心に取り組み、家庭でのごみ削減や再利用について考えきつかけになりました。

また、最近家の用品を片付けました。普段ごみに出しことがないものが多々あり、改めて分別方法や廃棄のルール、資源ごみとて再利用可能かどうかなどを確認する良い機会となりました。



まだ使えるものは、リサイクルショップや知人に譲るなどしてごみを減らす工夫をしました。それでごみを減らす工夫も廃棄せざるを得ないものは環境センターに持ち込みました。初めての利用でした。初めの利用でしたら、思ったよりも簡単で、施設の見学もできてよかったです。

今後もごみ削減やリサイクルのために家庭でできることから取り組んでいきます。

市職員の声

ルールを守ればまちはきれいに保つため、正しいごみの分別と出し方への協力をお願ひしています。家庭ごみの出し方が分からぬ場合は、ごみ出しカレンダーを確認し、指定の曜日に分別して出してください。風が強い日はペットボトルなどが飛ばされる恐れがあるため、ごみ出しを控えるなど配慮をお願いします。また、限りある資源を循環させていくために、資源ごみの回収を積極的にご利用ください。



市では、まちをきれいに保つため、正しいごみの分別と出し方への協力をお願ひしています。家庭ごみの出し方が分からぬ場合は、ごみ出しカレンダーを確認し、指定の曜日に分別して出してください。風が強い日はペットボトルなどが飛ばされる恐れがあるため、ごみ出しを控えるなど配慮をお願いします。また、限りある資源を循環させていくために、資源ごみの回収を積極的にご利用ください。

他にも家庭から出るエアコン、テレビ、冷蔵・冷凍庫、洗濯機などが捨てられていることがあります。これらは家庭ごみとては出せません。処分時は、小売業者へ引き取り依頼、家電リサイクル券を購入して指定引取所へ持ち込み、粗大ごみ収集業者へ依頼をお願いします。

豊かな生活を残し続けるために宇和島の美しい自然や豊かな日常を次の世代へ引き継いでいくためには、みんなで協力しながら、環境に配慮した暮らしを実践していくことが必要です。

私たちが快適に暮らすための環境は、ゴミの分別や削減など一人一人の小さな日々の行動から生まれます。未来のために一人一人が考えていきましょう。